



平成 29 年 11 月 17 日
海 上 保 安 庁

西之島の火山活動状況について（11月14日観測）

11月14日、当庁羽田航空基地所属航空機(MA725)により、西之島の火山活動の観測を行いました。

午後1時45分から20分間の観測中に噴火活動は認められませんでした。火砕丘中央の火口内壁から白色噴気が高さ数m上がるのを確認するとともに、島の周囲に変色水を確認しました（図1、2参照）。

西之島においては、4月20日に新たな噴火を確認した後、噴火活動が継続していましたが、8月2日の観測を最後に噴火活動は確認されていません。

10月3日に開催された火山噴火予知連絡会では、「西之島は約1年半の休止期間の後、4月に噴火した経緯を踏まえると、今後も噴火活動が再開する可能性が考えられます。」と評価しています。

海上保安庁では今後も注意深く監視を継続するとともに、引き続き航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。



図1 西之島遠景 (11月14日撮影)



図2 火砕丘中央の火口内壁の噴気帯 (11月14日撮影)